

## のり養殖の支払見込！！

令和2年度漁期ののり養殖は、年明けからの高水温や食害の発生、あかぐされ病や1月上旬の爆弾低気圧などの影響により生産量が伸び悩みました。また、降水量の減少や珪藻の繁殖による栄養塩不足で色落ちが発生したことや、コロナ禍によりコンビニエンスストア等でののり需要が減少したことで価格も下落しました。全国漁連のり事業推進協議会の5月17日時点での発表では、乾のり共販実績は数量で約65億枚（前年対比92%、5億2千万枚減）、金額は約676億円（前年対比72%、260億円減）となっています。

令和2年度契約の特定のり養殖共済の8月までの支払見込は、共済金で約98億円、積立ぶらすの払戻金（国の補てん金含む）で約82億円となり、合わせて約180億円の支払が見込まれています。

のり養殖業は近年安定した生産状況でしたが、久しぶりの多額の支払となりました。未だ収束の見通しが立たないコロナ禍が続き、今後も価格の低迷などが懸念される状況となりますが、より多くの漁業者の方々に漁業共済・積立ぶらすを利用していただければ幸いです。

### 令和3年度の加入実績（5月末累計）

（単位：百万円）

区 分	共済金額			漁業者積立額		
	本年度	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比
漁 獲 共 済	55,895	56,005	100%	3,578	3,278	109%
養 殖 共 済	114,317	123,586	93%	4,762	5,356	89%
特 定 養 殖 共 済	1,571	1,641	96%	58	61	95%
漁 業 施 設 共 済	5,991	5,901	102%			
地 域 共 済	1,372	1,261	109%			
合 計	179,147	188,394	95%	8,398	8,694	97%